

～学びと育ちの連続性～

## 浦幌小中一貫CS便り



平成 30 年 10 月 9 日 (NO.114)

浦幌町教育委員会  
浦幌町教育研究所

### 上浦幌学園の取組

- 「上浦幌子ども夏祭り」が地域・保護者、寿大学、うらほろスタイルサポート等の協力のもと盛大に行われた。「まわし読み新聞」のグループ活動をはじめ、縁日や花火遊びなどで交流の輪を広げた。
- 保育所・小中学校合同研修会や授業参観、JA 青年部による小麦脱穀実習、寿大学や老人クラブとの花壇整備や交流給食、英語検定、エピペンに関する救命救急講習、交通安全キャンペーン等に活発に取り組んだ。
- 小中合同でクリーン作戦やごみ拾い、公民館祭りでの合唱発表等、地域とともにある活動を展開している。今後、寿大学の授業を小中学校の先生が行うなど、学校の教育力を地域に発信していく。

### 浦幌学園の取組

- 3 回目となる CS 委員会主催「うらモン GO！」の開催により、地域の人たちの絆がますます深まり、地域の活性化に果たす役

## 第2回CS推進協議会

- この度、教職員の推進組織「小中一貫CS推進協議会」が開催され、小中一貫CSのプラスαの取組が確かな成果となって表れてきていることを確認しました。  
主な交流事項は以下の通り。

割は大きいと手ごたえを感じている。

- 学園評価委員会の仕組みや役割が明確になり、学園評価に基づいた検証・改善サイクルが機能してきた。また、年2回開催の小中合同CS研修会には、地域・保護者・教職員が大勢集まり、「熟議」を通して地域総ぐるみの活動を展開している。
- CS便りの交換掲示や夏季・冬季休業中の小中合同学習サポート、中学校アカデミー(美術)、修学旅行PR活動のロールプレイ、さけのさばき方教室等に取り組んできた。小中合同クリーン作戦は次年度から行う。

### 全体にかかわる改善事項

- ① 教職員の大幅異動に対応するため、活動記録のフォーマットを定め記録化して引き継いでいく。
- ② 学園評価委員会の位置付けを明らかにし、CS推進協議会とCS委員会との関わり、幼保小中の連携、英語科などの乗り入れ授業など、プラスαの取組を進めていく。
- ③ 各学園・学校に設置された「学校運営協議会」と、今後設置される「地域学校協働本部(仮称)」が両輪となって取組を進めていく(浦幌学園)。
- ④ 「スマホ・ゲーム機使用のルール」を生かした学力・体力の向上に継続して取り組んでいく。



第2回小中一貫CS推進協議会の交流